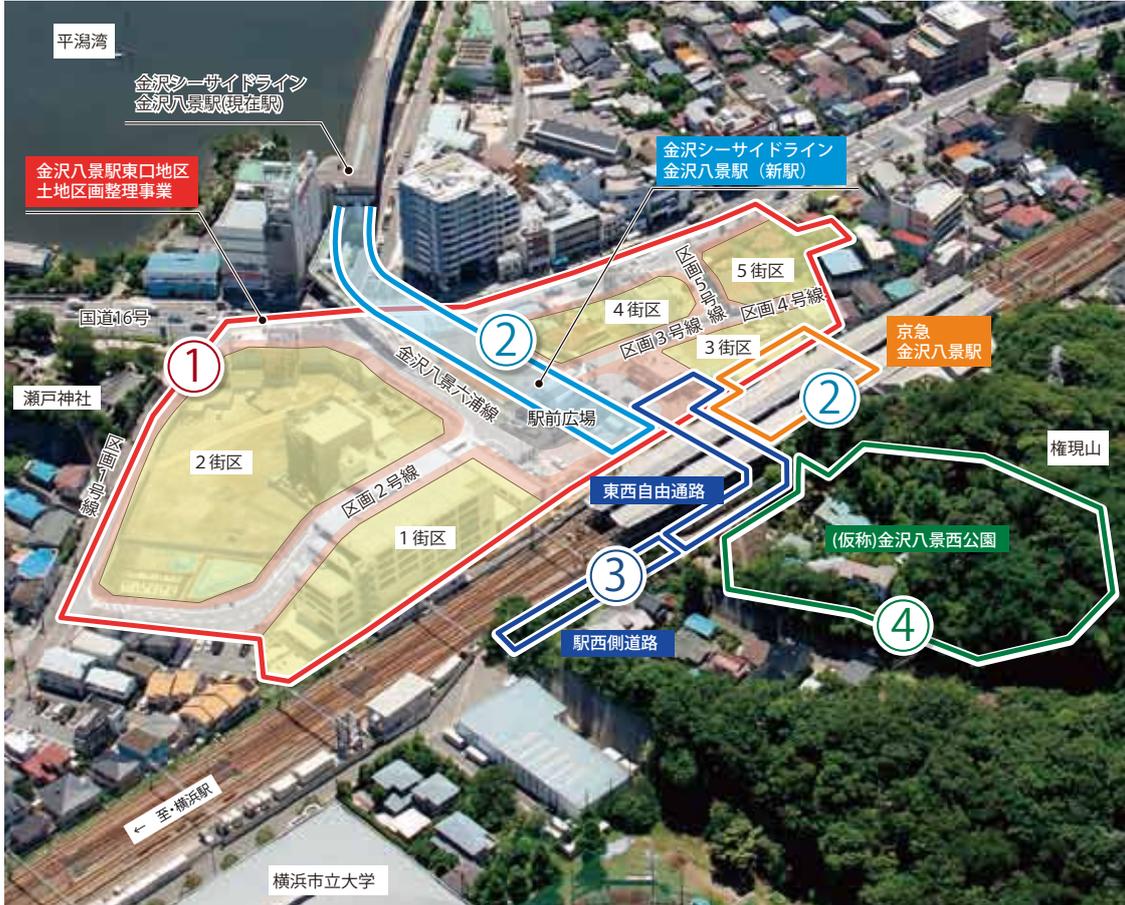


のりみが行く!!

進む! 金沢八景駅周辺のまちづくり



① 土地区画整理事業

駅前広場、道路、下水道の基盤整備や、賑わいのある駅前商業機能の集積を図ります。
施行地区面積:約2.4ha
総事業費:約91億円



② 乗換えが便利な駅整備

金沢シーサイドラインの延伸と京浜急行金沢八景駅の橋上化で、2つの駅が直接つながり利用者の利便性が向上します。
金沢シーサイドライン延伸
総事業費:約54億円
京急金沢八景駅駅舎改良
総事業費:約22億円



③ 歩きやすい歩道整備

東西自由通路や駅西側道路の整備により、駅を中心とした歩行者ネットワークを形成します。
東西自由通路
総事業費:約18億円
(主な整備はエレベーター2基)
駅西側 道路
総事業費:約1.5億円



④ 自然と歴史を生かした公園整備

木村家住宅主屋(旧円通寺客殿)を御伊勢山・権現山と一体となった歴史的風致や景観とともに保全・活用します。
(仮称)金沢八景西公園
公園面積:約0.5ha
総事業費:約15億円



金沢八景駅東口は豊かな緑と海に面する市南部の拠点駅前で1日に4万5千人の方々利用しています。中でも住宅地、工業団地、海の公園、八景島などがある臨海地域との間が金沢シーサイドラインで結ばれる事により1万5千人の方々利用するなど、南部の玄関口として非常に重要な役割を果たします。しかし、今回の再開発の過程で商店街が以前よりも縮小され、街に賑わいがなくなっているのを懸念しており、これからの数年間は非常に大切な時期になってきます。仮設店舗で営業しているの方々など課題は山積みです。西口においても横浜市大や金沢高校等へ向かう道路の拡幅や、横浜認定歴史的建造物の活用、緑地の保全など、まだまだ議論をしなければならぬ課題は多く、地元選出の議員として気を引き締めて働いて参ります。

念願の横浜市立武道館建設に向かって1歩1歩と前進しております！

横浜文化体育館再整備事業の検討状況について

1 事業手法

(1) 検討の視点

- ① 公民連携の事業手法による市の**費用負担の縮減**
- ② 関内駅周辺地区まちづくりのリーディングプロジェクトとして、**地域の活性化への寄与**
- ③ 公民連携のまちづくりにおける**民間事業者の参画意欲を確保**
- ④ 横浜市中心企業振興基本条例を踏まえた、**市内企業への発注への配慮**

【参考1】再整備事業の基本方針

横浜文化体育館の老朽化や武道振興のための場の確保、関内駅周辺地区のまちづくりの取組として実施します。

(1) 敷地

現横浜文化体育館敷地及び近接する旧横浜総合高校敷地を活用して再整備します。

(2) 施設

大規模なスポーツ大会やコンサートなどの興行利用にも対応し、地区の活性化にも資する新しい横浜文化体育館〈アリーナ施設とサブアリーナ施設（武道館機能を含む）〉を整備するとともに、関内駅周辺地区のまちづくりのために民間施設を誘導します。

(3) 事業手法

民間活力を最大限活用した再整備とし、事業の一体性を確保するため、二敷地一体での事業公募を前提に調整を進めます。

(4) スケジュール

民間活力を最大限活用した再整備とし、事業の一体性を確保するため、二敷地一体での事業公募を前提に調整を進めます。施設は2段階で整備します。遊休市有地の早期活用と稼働率が高い現横浜文化体育館の利用継続への配慮から旧横浜総合高校敷地でのサブアリーナ施設の整備を先行し、関内駅周辺地区のリーディングプロジェクトとして、32年度早期の供用開始を目指します。



先日行われました常任の市民・文化観光・消防委員会で議論が行われ、横浜文化体育館再整備事業の検討状況の中で、民間事業、PFI事業、公共発注の検討、議論を行い、PFI事業を基本とした検討を進める事になりました。今回は、現在の文化体育館にアリーナ施設、旧横浜総合高校敷地にサブアリーナ施設を建設予定としており、そのサブアリーナ施設は武道館機能を含むものとして議論されています。私もまだまだ現役の柔道家としては、長年の武道団体の夢である世界大会を開催出来る武道館建設完成を目指して働いていきます。